

2010 年度報告書（研究員）

氏 名	亀岡 京子
職 位	短時間研究員（2010 年 4 月 1 日～4 月 30 日）
<p>研究概要</p> <p>本年度は医薬品の製品開発における臨床試験業務の外部化に関する研究を行った。本研究は外資系企業が内資系企業による教育投資のフリーライドの可能性にも関わらず、彼らに先駆けて評価業務を受託する行動原理を業務の標準化の観点から考察した。その結果、次のことが明らかになった。臨床開発業務受託機関（CRO）と製薬企業との協働を通じて効率的な業務プロセスを構築することによって当該 CRO が学習し、他の製薬企業との取引においてその業務プロセスを伝播させることで一種の業務の標準化がなされ、そのベネフィットが教育投資を上回る。このことが外資系企業の行動のインセンティブになっていると考えられるのである。</p> <p>さらに、当該研究を含めて研究開発における評価と選択の相互関係を考察することで研究開発マネジメントにおける評価の役割について学位申請論文をまとめ、2010 年 12 月に提出した。</p>	
<p>業績リスト（著書、論文、報告、その他に分けて主要なものを記入する）</p> <p>論文「評価業務の外部化の意義」『経済論叢』に投稿済 学位申請論文「研究開発マネジメントにおける評価の役割」</p>	

